

# エコアクション21 環境活動レポート

(2019年3月～2020年2月)

2020年5月18日

アシナ環境管理センター有限公司



®環境省  
エコアクション21  
認証番号 0004595

## 【 目 次 】

1.	組織の概要	3 ~ 5
2.	環境方針	5
3.	環境目標	6
4.	環境活動計画	7
5.	環境目標の実績	8
6.	環境活動計画の取組結果とその評価	9
	次年度の取組内容等	
7.	二酸化炭素排出量の実績	1 1
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	1 1
9.	代表者による全体評価と見直しの結果	1 2
1 0.	環境保全活動	1 3

## 1. 組織の概要

### ・ 事業所名及び代表者氏名

アシナ環境管理センター有限公司 代表取締役 土井 美智雄

### ・ 所在地

広島県福山市新市町戸手 1139-1

広島県福山市新市町新市 913-2 (車庫)

### ・ 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 土井 美智雄

TEL 0847-52-6525 FAX 0847-51-8399

### ・ 事業の内容

浄化槽保守点検業

一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

建築物飲料水貯水槽清掃業

消防設備点検業

管工事業

### ・ 事業の規模

売上高 5,203 万円 (2019 年度)

従業員数 6 名

延べ床面積 196 m<sup>2</sup>

### ・ 法人設立年月日

1988 年 3 月 1 日

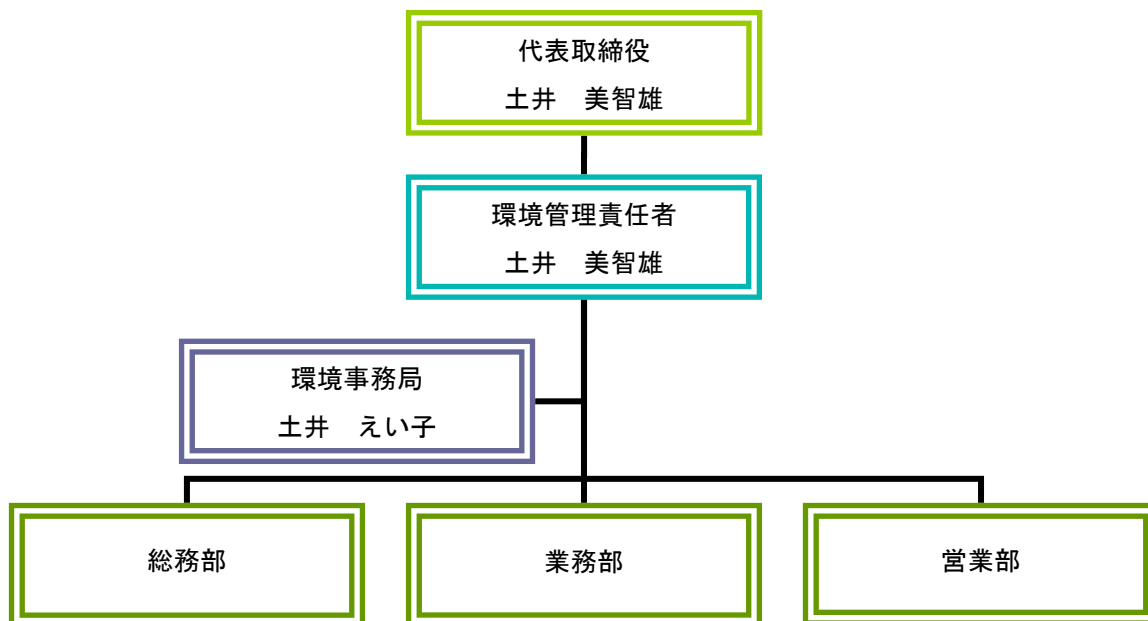
### ・ 資本金

500 万円

### ・ 対象範囲

- |                      |   |
|----------------------|---|
| (1) 認証登録番号           | 0004595                                     |
| (2) 認証・登録事業者         | アシナ環境管理センター有限公司<br>広島県福山市新市町戸手 1139-1       |
| (3) 認証・登録の<br>対象活動範囲 | 浄化槽保守点検、一般廃棄物収集運搬、<br>産業廃棄物収集運搬、消防設備点検、管工事業 |
| (4) 対象事業所            | 本社、車庫                                       |

・ 組織図



・ 許可内容

許可名称 許可番号	許可年月日 許可有効期限	営業区域	許可品目
下水道処理施設維持管理業 処 02-734	2020年 1月 30日 2025年 1月 29日	広島県	
浄化槽保守点検業 県 63 第 1005 号	2018年 11月 18日 2021年 11月 17日	神石高原町	
浄化槽保守点検業 福 03 第 030 号	2018年 11月 18日 2021年 11月 17日	福山市	
建築物飲料水貯水槽清掃業 県 04 貯第 4192 号	2016年 10月 9日 2022年 10月 8日	広島県	
一般建設業 管工事 (般-29) 第 27005 号	2017年 7月 28日 2022年 7月 27日	広島県	
消防設備点検		広島県	
一般廃棄物収集運搬業 第 176 号	2019年 4月 1日 2021年 3月 31日	福山市	固形状
産業廃棄物収集運搬業 第 3407033271 号	2015年 12月 14日 2020年 12月 13日	広島県	燃え殻, 汚泥, 廃油, 廃酸, 廃アルカリ, 廃プラスチック類, 紙くず, 木くず, 繊維くず, 動植物性残さ, ゴムくず, 金属くず, ガラスくず, コンクリートくず, 陶磁器くず, 鉱さい及びがれき類

## ・ 車輛種類と台数

車輛種類	車輛台数	車輛台数	車輛台数
浄化槽メンテナンス車	3台	2t パッカー車	1台
2t 吸引車	1台	井戸ボーリングマシン	1台
2t ダンプ車	1台	高圧コンプレッサー	1台
2tトラック	1台	0.01 m <sup>3</sup> 油圧ショベル	1台

## ・ 環境関連技術者

水道技術管理者	甲種危険物取扱者
水道施設管理技士	1級管工事施工管理技士
浄化槽管理士	1級電気工事施工管理技士
浄化槽技術管理者	1級土木施工管理技士
下水道第2種技術検定	1級さく井技能士
下水道第3種技術検定	1級ポンプ施設管理技術者
下水道管理技術認定（管路施設）	マンション管理士
建築物環境衛生管理技術者	管理業務主任者

## ・ 収集運搬実績

	産業廃棄物	一般廃棄物	合計
2016年度	4.2 t	22.7 t	26.9 t
2017年度	4.0 t	21.2 t	25.2 t
2018年度	2.8 t	19.6 t	22.4 t
2019年度	3.8 t	18.6 t	22.4 t

※積替え保管は含まない。

## ・ 廃棄物処理料金

収集運搬料金につきましては種類、重量、数量、運搬距離等の諸事情により異なりますので、当社にお問い合わせください。無料にて御見積りいたします。

連絡先 (0847) 52-6525

# 環 境 方 針

弊社は浄化槽のメンテナンス、廃棄物の収集運搬、水井戸ボーリング工事、給排水衛生設備工事等を業務としています。

私たちはますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社員一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

## 環境保全への行動指針

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 事業所の廃棄物の削減
- ③ 水資源の節水
- ④ 事務用品のグリーン購入
- ⑤ 地域の衛生保持と環境保全
- ⑥ 建設工事における循環資源の活用

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。



制定日 2009年6月1日

改定日 2018年3月25日

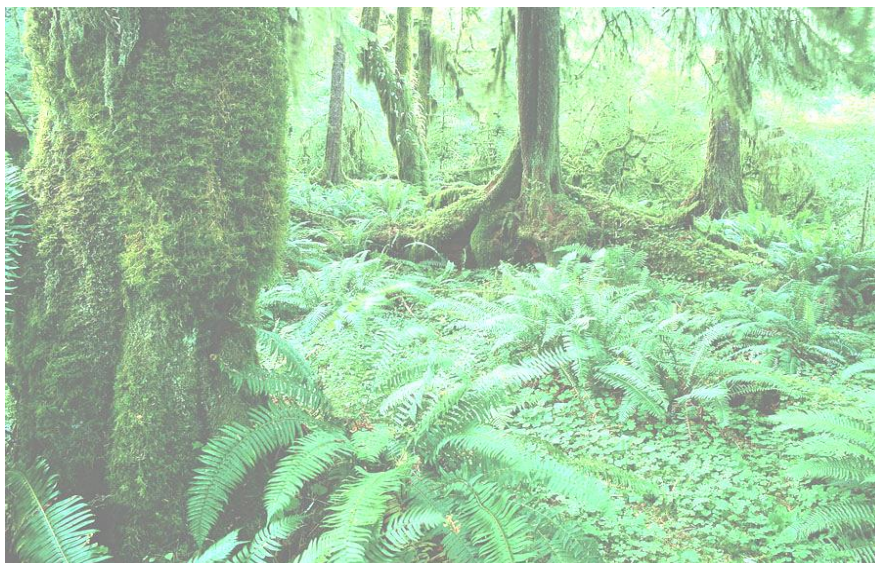
アシナ環境管理センター有限会社

代表取締役 土井 美智雄

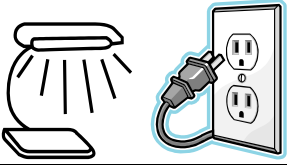






・ 環境目標

環境目標設定	責任部門	基準値 (基準年度)	2019 年度目標	2020 年度目標	2021 年度目標
電力使用量の削減	総務部	4,135kwh (2012 年度)	4,062.6kwh △1.75%	4,052.3kwh △2.00%	4,052.3kwh △2.00%
自動車燃料の削減	業務部 営業部	5,543ℓ (2012 年度)	5,446ℓ △1.75%	5,432ℓ △2.00%	5,432ℓ △2.00%
電力・自動車燃料に関する 二酸化炭素排出量の削減	全部門	14,431 kg-CO2 (2012 年度)	14,178 kg-CO2 △1.75%	14,142 kg-CO2 △2.00%	14,142 kg-CO2 △2.00%
一般廃棄物の削減	総務部	627kg (2012 年度)	616 kg △1.75%	614 kg △2.00%	614 kg △2.00%
使用水量の削減	総務部 業務部	140 m <sup>3</sup> (2012 年度)	138.25 m <sup>3</sup> △1.25%	138.25 m <sup>3</sup> △1.25%	138.25 m <sup>3</sup> △1.25%
グリーン購入	総務部	—	事務用品・作業服の購入		
地域の衛生保持と環境保全	業務部	—	収集運搬時の騒音抑制 収集運搬後の周辺確認・清掃		
建設工事における循環資源の活用	業務部	—	環境配慮製品の情報を収集する		

※化学物質は使用していません。

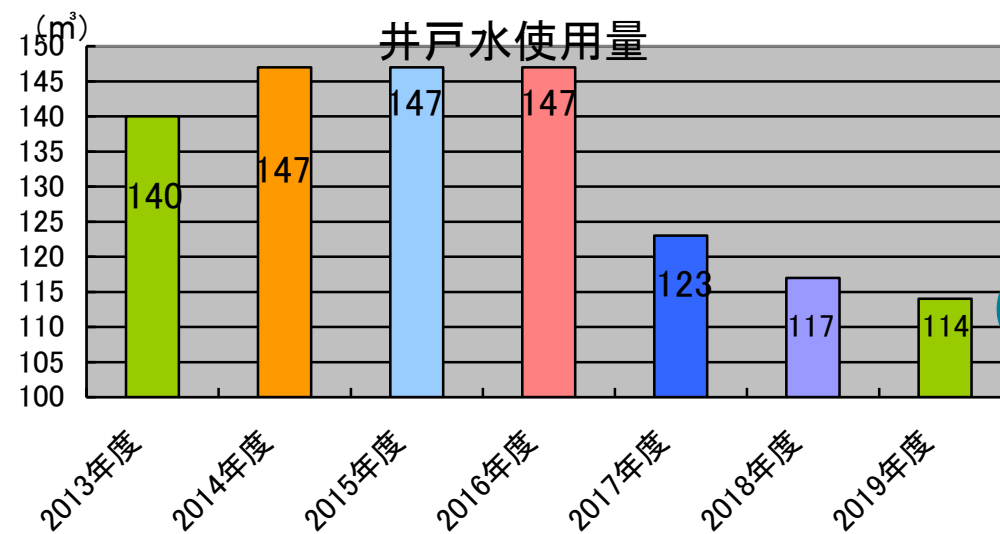
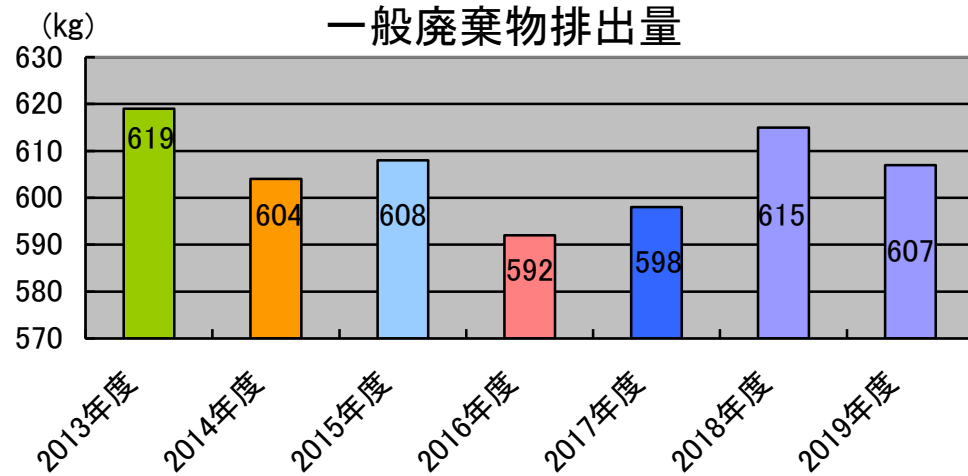
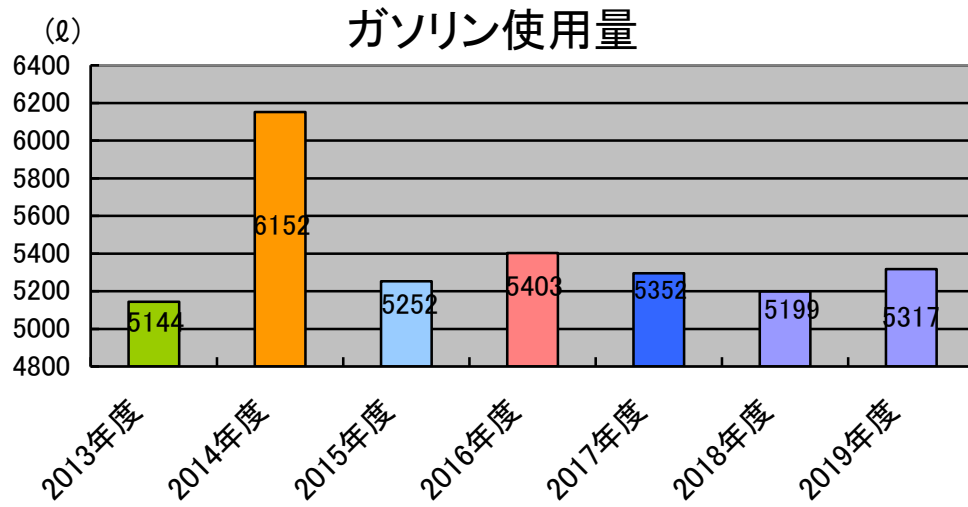


・ 環境活動計画

環境目標	責任部門	具体的取組手段
<p>電力使用量の削減</p> 	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不要照明の消灯</li> <li>・ クールビズ、ウォームビズの採用</li> <li>・ 冷房 28℃ 暖房 20℃の設定、温度管理</li> </ul>
<p>自動車燃料の削減</p> 	<p>業務部 営業部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイドリングストップ</li> <li>・ 暖気運転の抑制</li> <li>・ 急加速運転の抑制</li> <li>・ 冷暖房の控えめ使用</li> </ul>
<p>一般廃棄物の削減</p> 	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 裏紙の使用</li> <li>・ ミスコピーの防止</li> </ul>
<p>使用水量の削減</p> 	<p>総務部 業務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水運動</li> </ul>
<p>グリーン購入</p> 	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務用品、消耗品は可能な限り、エコ・グリーンマークの商品を選定し、その購入に努力する。</li> </ul>
<p>地域の衛生保持と環境保全</p> 	業務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情ゼロ</li> </ul>
<p>建設工事における循環資源の活用</p> 	業務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に配慮した資材の使用</li> </ul>



・ 環境目標の実績



・ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標設定	達成状況	評価	環境活動計画の取組結果と評価 次年度取組内容
電力量の削減	2019 年度目標 4,063kwh	○	自主的・継続的に作業を進めることで、作業時間の短縮や効率化に努めます。
	2019 年度実績 3,497kwh		
自動車燃料の削減	2019 年度目標 5,446ℓ	○	目標は達成できましたが、社員の「気づき」を引き出しやすいような環境作りに努めます。
	2019 年度実績 5,317ℓ		
二酸化炭素排出量の削減 (管理可能な電力とガソリン)	2019 年度目標 14,178 kg - CO2	○	広く社会に貢献できるよう、自覚と責任を持ち誠実な活動に努めます。
	2019 年度実績 13,666 kg - CO2		
一般廃棄物の削減	2019 年度目標 616kg	○	廃棄物の削減を社会的責任としてとらえ、積極的に取り組みます。
	2019 年度実績 607kg		
使用水量の削減	2019 年度目標 138 m <sup>3</sup>	○	最適なバランスを保ちながら、付加価値の高いサービスを提供して参ります。
	2019 年度実績 114 m <sup>3</sup>		
グリーン購入	20 個	×	目標は達成できなかったが、今後も適合製品の選定に努めていきます。
	16 個		
地域の衛生保持と環境保全	4 回	○	地域の皆様から必要とされる活動であり続けるため、引き続き活動を継続します。
	5 回		
建設工事における 循環資源の活用	環境に配慮した資 材の使用	○	納品業者から商品データを提供してもらい特性を理解し使用する。

・ **二酸化炭素排出量（総量）の実績推移**

（電気・灯油・ガソリン・軽油を含む）

	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
二酸化炭素排出量 (kg - CO2)	31,402 (基準)	28,144 (10.4%減)	17,183 (45.3%減)	20,075 (36.1%減)	19,138 (39.1%減)
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	
16,211 (48.4%減)	16,701 (46.8%減)	16,546 (47.3%減)	16,119 (48.6%減)	16,217 (48.3%減)	

（注1） 本表は過去からの二酸化炭素排出量（総量）の推移を示しています。このため電力の二酸化炭素排出係数は0.378kg - CO2/kwh(2004年版ガイドラインの排出係数/全国共通)を使用しました。なお、2019年度の二酸化炭素排出量を、中国電力の2018年度の排出係数0.518kg - CO2/kwhを用いて算出すると、16,707 kg - CO2となります。

・ **環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**

関連法規名称	遵守事項	結果
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業の許可	○
	産業廃棄物収集運搬業の許可	○
	収集運搬車両への表示と書面備付け	○
	収集運搬管理帳簿の作成・保存・報告	○
	マニフェストの管理	○
	自社から排出される廃棄物の適正処理	○
浄化槽法	保守点検業の登録	○
	浄化槽管理士の設置	○
	帳簿の備付け	○
	標識の掲示	○
<p>環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、法違反はありませんでした。            なお過去3年間、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟はありません。</p>		

・ 代表者による全体評価と見直しの結果

項目	状況
環境目標の達成状況	<p>日々の業務に力と時間を注いでくれる、従業員一人ひとりの努力を無駄にすることの無いよう継続したことで、概ね目標は達成できたと認識しております。</p> <p>さらに前進するために、現実をしっかりと把握・分析し活動を通じて社会の成長・発展に寄与して参ります。</p>
法令等の遵守状況	<p>遵守できている。</p>
外部からの苦情要望	<p>苦情等はなし。</p>
改善の為の提案	<p>現在のシステムを維持する。必要があれば修正等を加えながら、より完成度の高いシステムにしていきたい。</p>
見直し、指示事項	<p>社員のアイデアを積極的に採用し、維持改善することにより、完成度の高いシステムを構築する必要があります。</p> <p>また、中小企業においても社会的責任が求められている中、環境対策と人材育成に努めます。</p>

・ 環境保全活動



周辺の美化活動を行いました。